

# 異文化への理解

所要時間 90分

対象 小学校高学年以上

ねらい

○世界の人々の中には様々な感じ方や考え方があることや、日本に住む外国から来た人達が抱える問題について考え合うことを通して、様々な立場の人とふれあい、助け合うことよさに気づく。

準備

- ・絵または絵の写真（内容は留意点に記載）
- ・各自色鉛筆、A4白紙
- ・啓発ビデオ「ソーテサワサワ～人間の価値はみな同じ～」
- 企画：長野県同和教育推進協議会 制作：信越放送（SBC）株式会社

進め方

導入

展開

振り返り

活動の流れ（指導者の教示、子どもの反応・行動）	
1	「色鉛筆を使って、次の6つのものの絵を描いてください。」 （技術的な優劣を見るものではないことを伝え、自分の思い通り描かせる。） ①1本の木 ②りんごの色 ③みかんの色 ④太陽の色 ⑤虹の色の数 ⑥月の色
2	教師の示した絵（写真）と比べて感想を出し合う。
3	DVD「ソーテサワサワ」を見る。
4	主人公の小林フィデアさんが、様々な体験をし、その時にできることを行動に移すことで、差別に立ち向かっていることや、フィデアさんを支え共に生きる人たちの存在に気づかせる。
5	「学習を通して気づいたこと、感じたことを発表しましょう。」

留意点等

○指示して描く絵について

指示	生徒が描くと予想される絵	教師が事前に用意しておく絵、または写真	備考
①1本の木	緑豊かな木	緑豊かとは限らない	
②りんごの色	赤	緑（フランス）	外国の絵本等が参考になる。
③みかんの色	オレンジ色	茶色も含む色（欧米）	
④太陽の色	赤	黄（欧米）	
⑤虹の色の数	7	5～6（欧米）	7（フランス）
⑥月の色	黄	白（欧米）	

○『「言葉がわからない」体験ゲーム何が起こった？（震災編）』（（財）滋賀県国際協会発行）を導入の学習で活用する方法もある。